



2020年5月28日

各位

会社名 凸版印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 磨 秀晴
(コード番号 7911 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員財務本部長
黒部 隆
(TEL. 03 - 3835 - 5665)

2020年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年11月11日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,520,000	57,000	61,000	60,000	177.36
今回修正予想(B)	1,486,000	66,000	66,000	86,000	257.92
増減額(B-A)	△34,000	9,000	5,000	26,000	—
増減率(%)	△2.2%	15.8%	8.2%	43.3%	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	1,464,755	45,727	49,115	41,049	127.55

(注)2020年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期実績の各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、情報コミュニケーション事業分野においてペーパーメディアが想定以上に縮小したほか、エレクトロニクス事業分野においてTFT液晶やフォトマスク、カラーフィルタなどが落ち込んだため、前回予想を下回る見通しです。

利益につきましては、情報コミュニケーション事業分野において、SP関連や電子書籍の拡大、教科書採択の順調な推移に加え、生活・産業事業分野において、低差益受注品の見直しや原価削減の積極的な推進により、収益性が向上しました。さらに、退職給付費用が減少する見込みとなりました。その結果、営業利益および経常利益は前回予想を上回る見通しです。上記に加え、投資有価証券の売却を更に進めたこと、および減損損失の金額が想定を下回る見込みとなったこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を上回る見通しです。

これらを踏まえ、通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

3. 配当予想の修正について

配当予想につきましては、本日付で公表しております「配当予想の修正(創立120周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により当該予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以上